

平成 19 年 10 月 26 日

## 6 号機原子炉建屋内における水漏れについて

6 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 10 月 25 日午後 5 時 35 分頃、原子炉建屋 5 階にあるプリコートタンク\*室内において、換気空調用排気管のつなぎ目から水が滴下していることを、当社社員が発見しました。

ただちに現場を調査したところ、同建屋 6 階に設置した機器を洗浄する装置の排水ホースが、本来、使用済燃料プール壁面上部にあるスキマサージタンク流入口に導かれているべきところ、同壁面上部の当該排気管の吸込口に導かれていることを確認しました。このことから、当該装置の排水が当該排気管に流入し、排気管のつなぎ目から滴下したものと判断しました。

今後、原因を調査します。

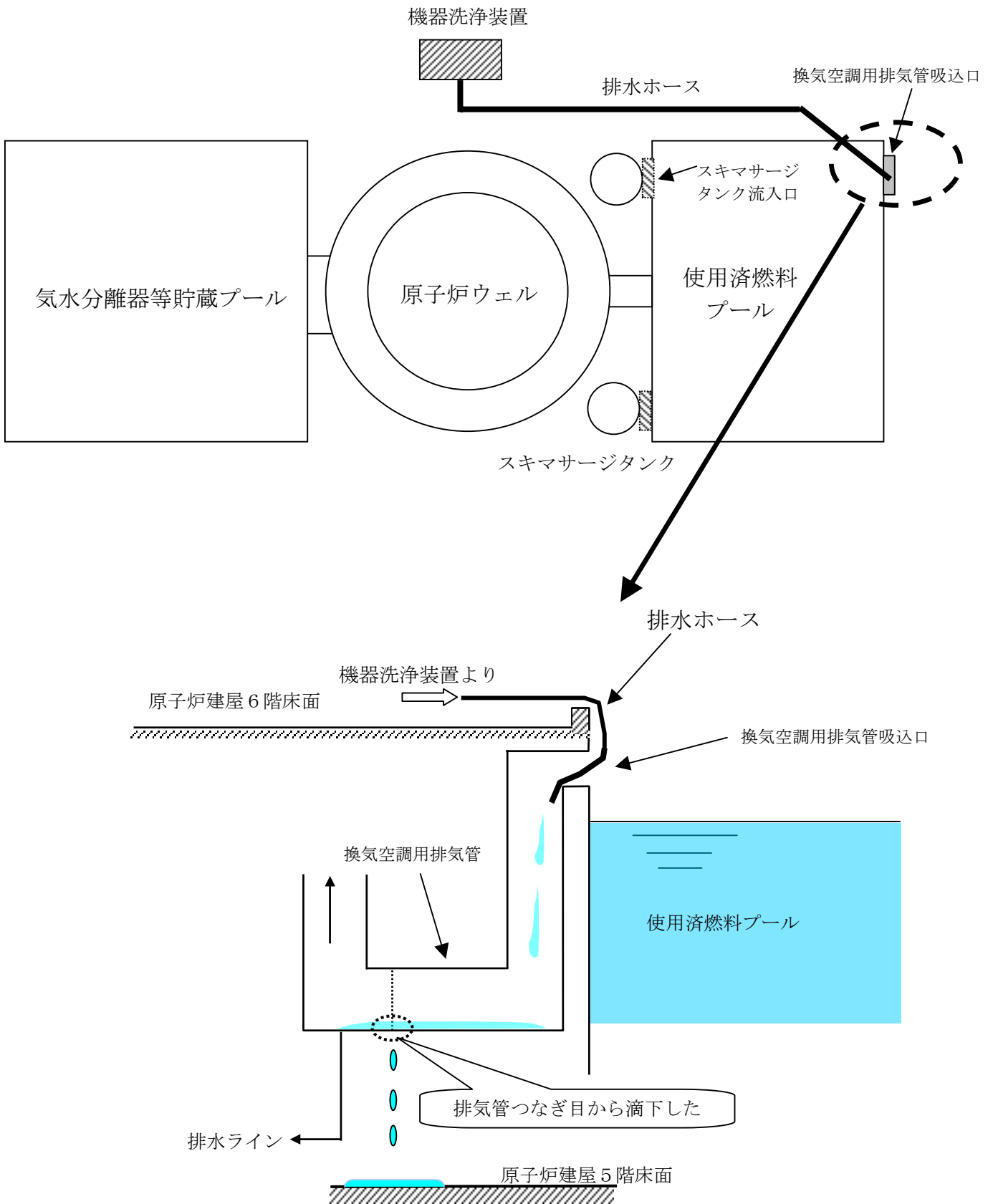
なお、漏れた水の量は約 6.3 リットル、放射エネルギーは約  $3.1 \times 10^6$  ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

\* プリコートタンク

燃料プール冷却浄化系にあるろ過脱塩器のフィルタに樹脂をコーティングする際に使用するタンク。



6号機原子炉建屋内における水漏れ状況概略図